

少数台数のリコール届出及び改善対策届出の公表について (平成19年11月分)
--

I. リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成19年11月は下記のとおり16件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月2日	1996	車名：コマツ 型式：JDS-WA098 他 通称名：WA470-6 他	10	平成18年10月31日～ 平成19年9月26日
不具合の部位等	燃料噴射パイプの製造のばらつきにより、当該パイプ内部に傷ができ、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、燃料噴射時の圧力変動により、傷を起点に亀裂が発生し、最悪の場合、燃料噴射パイプから燃料が漏れるおそれがある。			

2. 届出者：日本トレクス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月8日	1993	車名：いすゞ 型式：KL-FSD34L4 他 通称名：フォワード 他	97	平成14年2月22日～ 平成18年9月14日
不具合の部位等	トラックの燃料タンクの取付位置が不適切なものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行時の振動等により、燃料タンクの端部に亀裂が発生し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。			

3. 届出者：株式会社タダノ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月8日	1997	車名：タダノ 型式：SD-TR256 通称名：CREVO250	21	平成18年5月22日～ 平成18年9月29日
不具合の部位等	トランスミッションの内部にある、スピードセンサ駆動ギヤにおいて、表面硬度の異なったギヤを誤って組合せたものがある。そのため、そのまま使用を続けると、歯面が異常摩耗し、スピードセンサが駆動されず、速度計が作動しなくなるおそれがある。また、車両速度の検出ができなくなるため、シフト位置がDレンジでの自動変速ができなくなるおそれがある。			

4. 届出者：コベルコクレーン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月14日	2002	車名：コベルコ 型式：SD-EZ08 通称名：RK250-6	13	平成18年5月24日～ 平成18年9月29日
不具合の部位等	トランスミッションの内部にある、スピードセンサ駆動ギヤにおいて、表面硬度の異なったギヤを誤って組合せたものがある。そのため、そのまま使用を続けると、歯面が異常摩耗し、スピードセンサが駆動されず、速度計が作動しなくなるおそれがある。また、車両速度の検出ができなくなるため、シフト位置がDレンジでの自動変速ができなくなるおそれがある。			

5. 届出者：酒井重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月20日	2009	車名：サカイ 型式：JDS-MER10 通称名：ER552F	7	平成18年10月14日～ 平成19年9月15日
不具合の部位等	燃料噴射パイプの製造のばらつきにより、当該パイプ内部に傷ができ、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、燃料噴射時の圧力変動により、傷を起点に亀裂が発生し、最悪の場合、燃料噴射パイプから燃料が漏れるおそれがある。			

6. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月29日	外1445	車名：ドゥカティ 型式：ZDMB100AA7B 通称名：HYPERMOTARD1100S	68	平成19年6月27日～ 平成19年9月11日
不具合の部位等	バッテリーの固定方法が不適切なため、バッテリーが振動し、バッテリーターミナル部の配線が損傷することがある。そのため、そのまま使用を続けると、バッテリーが充電されずエンジンが不調となり、最悪の場合、エンストし再始動できなくなるおそれがある。			

【参考】平成19年11月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	50件	35件	15件
輸入車	6件	5件	1件
計	56件	40件	16件

※リコール届出番号 1964、1966、1974、1975、1980、1981、1983、1984、1986、1990、については、11月20日に公表済みのため、本公表には含まれていません。

II 改善対策届出関係

改善対策対象が少数である100台未満の届出について、平成19年11月は下記のとおり1件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月20日	362	車名：日野 型式：ACG-HU8JLFP 他 通称名：日野ブルーリボンジエー	36	平成17年 2月15日～ 平成18年11月29日
不具合の部位等	前軸と後軸の間に乗車口のあるワンマンバスにおいて、空車時の乗車口後方の車体高さが地上高250mmを超えているにもかかわらず、後輪巻込防止装置を装着していないものがある。			

[参考 平成19年11月の改善対策届出総件数]

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	2 件	1 件	1 件
輸入車	1 件	1 件	0 件
計	3 件	2 件	1 件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村
電話 03-5253-8111(代表)(内線 42352)